

34. 小児血液腫瘍

○

○: 専門とするがん ×: 診療を実施していないがん
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○: あり ×: なし

○

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数		治療の実施状況 (○: 実施可 / ×: 実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日～12月31日							各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ			
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	化学療法	移植			放射線療法			ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容		
				自家末梢血幹細胞移植	血縁者間同種造血幹細胞移植	非血縁者間同種骨髄移植または臍帯血移植	体外照射	全身照射			治療内容	治療実績	医師の専門分野
1 小児科	4	2	状況	○	○	○	○			ア 診療科・部門案内 http://phio.panasonic.co.jp/kinen/section/shinryo/shoni/index.htm	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	あり	あり	あり	あり						
2 放射線科	1	1	状況					○	○	ア 診療科・部門案内 http://phio.panasonic.co.jp/kinen/section/shinryo/hoshasen/index.htm	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績					なし	なし				
3			状況							ア http://			
			実績										
4			状況							ア http://			
			実績										
5			状況							ア http://			
			実績										

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例: 急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫
	急性リンパ性白血病、若年性骨髄単球性白血病